

令和 2 年度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事 業 報 告

令和2年度 社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目次

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく
組織体制の基盤強化 1
2. 第3期地域福祉活動計画に基づく
重点事業 3

II 事業報告

1. 法人運営事業 5
2. 地域福祉事業の推進 8
3. 相談援助事業の実施 11
4. 住民参加型在宅福祉サービス事業の実施 12
5. 福祉資金貸付事業の実施 13
6. ボランティア事業の推進 14
7. 自動販売機設置経営事業の推進 16
8. 市委託事業の受託経営 17
9. 指定管理事業の受託経営 18
10. その他社協関連事業 27

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇専門家による財務会計に関する事務処理体制の強化

会計監査人の監査に準ずる監査の実施、並びに、厚労省推奨の専門家による支援のうち、税理士が行う「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務」及び「税務業務」を実施し、内部統制の強化を図りました。

◇事業評価制度の実施

本会事業の見直し、評価を行い、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性などを検討し、事業の拡張又は改廃や縮小を行いました。

◇委員会機能の充実

本会の業務運営を円滑に行うため、各種委員会機能の見直しや充実を図るとともに、適正な開催に努めました。

◇第2期社協・発展強化計画の策定

発展・強化計画推進委員会の中に策定部会を設置し、令和3年4月から始まる第2期社協・発展強化計画の策定を行いました。

(2) 人材育成と専門性の向上

◇職員の目標管理体制の実施

社協職員としての職員個々の成長を促すため、これまでの自分を振り返り、今後の自分の将来を見据えた「今年度の私の成長目標」を全職員が作成し、必要に応じて、職員面談を実施しました。

◇職員研修の充実

復命・伝達研修体制の整備を図り、研修の重複受講及び経費の節減に努めました。
また、人材育成、職場定着のため新規採用職員研修の内容を見直しました。

(3) 財政基盤の強化

◇税額控除制度を活用した寄付金の増強

朝霞市から税額控除対象法人として認可されているため、会員の加入促進、寄付金の増額を目指し、税額控除制度の周知を行いました。

なお、本会の地域福祉事業の推進にご賛同いただき、次のとおり、多くの方々より寄付をいただきました。

【寄付金実績報告】

	令和2年度	令和元年度
個人	延べ16件 611,242円	延べ13件 90,217円
団体	延べ6件 264,501円	延べ30件 589,957円
るくるん募金	10か所 31,585円	3か所 26,770円
合計	907,328円	706,944円

※るくるん募金箱設置か所：10か所（令和2年度末現在）

◇社協会員の加入促進及びPR強化

社協活動への理解と参加の促進及び自主財源の確保のため、自治会・町内会、市内外事業所と連携し会員の募集を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の予防のため説明会を中止し、実施期間を年度末まで延長しました。新たな試みとして、振込用紙に名前・住所を印字しておくことで協力率減少の抑制を図りました。

(一般会員500円、賛助会員1,000円、特別会員5,000円)

○実施期間：令和2年10月1日～令和3年3月31日

○目標額：8,000,000円

○実績額：7,221,877円

○加入状況内訳 ※（ ）内は、振込用紙による加入者数で内数

	令和2年度	平成元年度
一般会員	3,526世帯 (3)	4,047世帯 (3)
賛助会員	330世帯 (13)	365世帯 (17)
特別会員	177世帯 (64)	202世帯 (60)
500円未満	1,610世帯	1,823世帯

○社協会員募集説明会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	令和2年度	令和元年度
一般募金配分金	3,370,000円	3,476,000円
歳末たすけあい募金配分金	3,660,000円	4,074,000円

◇収益事業の調査・研究

体系的にファンドレイジングについて学ぶことで、効果的・戦略的な財源確保の取り組みにつなげるために、ファンドレイジング（財源確保）の仕方研修会を、近隣四市社協合同で開催しました。

【社会福祉協議会におけるファンドレイジング（財源確保）の仕方研修会】

○期 日：令和3年1月12日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○講 師：(社) 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET

○対 象：近隣四市社会福祉協議会職員

○方 法：Zoomによるオンライン研修

2. 第3期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【プロジェクト①】

支え合い・助け合いの心づくりと仕組みづくり

◇教職員対象の福祉教育研修会の実施

小・中・高等・特別支援学校の教職員や、福祉教育に携わる様々な立場の方を対象に朝霞地区四市福祉教育研修会を実施することを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(詳細は14ページ参照)

◇ボランティア講座の開催

様々なニーズに応じて、地域で主体となり活動できるボランティアの育成を目的として講座を実施しました。今年度は、活動団体間の情報交換の場として、サロン活動サポート会と、新規事業として、“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業の協力員養成講座を開催しました。

(詳細は10・16ページ参照)

◇ボランティア講座参加者の活動支援

ボランティア講座参加者の、得意分野を社協が把握し、地域で困っている方の支援につなげることができました。

(詳細は14ページ参照)

◇福祉活動団体の周知

広報紙にて、新型コロナウイルス感染症禍でも活動している地域福祉活動団体を紹介しました。また、サロン活動サポート会を開催しました。

(詳細は10ページ参照)

◇地域懇談会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内5地区での地域懇談会を適宜開催することができませんでしたが、今までの地区の懇談会から生まれた住民の自主グループによる懇談会が開催され、新型コロナウイルス感染症禍でも防災意識を高めていくための、いざという時の災害に備えたい「きっと来るぞ大型災害」のチラシを作成し、地域の自治会・町内会を通じて配布する活動をすすめることができました。また、地域包括支援センターとの協働で「防災」をテーマにした懇談会を開催しました。

◇小地域福祉活動の啓発

町内会、地域包括支援センター、地域包括支援センター圏域ごとに立ち上がった協議体(以下、協議体)とともに市内にある店舗を地域住民が集える場所として開放できるように新規立ち上げ支援を行いました。また、協議体の活動に訪問し、社協の事業紹介や活動状況について情報提供を行いながら関係を築きました。

◇福祉活動団体への支援

福祉活動団体への訪問、電話等により団体との関係づくりを継続したことで、団体から活動状況の報告や相談を受け、支援につなげることができました。また、協議体が立ち上げたサロンにもサロン活動サポート会に参加していただき、活動支援を行いました。さらに、子ども食堂から、新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮している世帯等に対する食料支援活動を行いたいという相談に対して、会場の提供やツイッター等で周知活動等の支援も行いました。このほか、本会ホームページ、ツイッター、メールにて助成金情報を随時掲載・投稿し、福祉活動団体へ情報提供を行いました。

○相談支援を行った件数：ふれあい・いきいきサロン、会食グループ等 271件

○相談支援内容：コロナ禍の活動の悩み、継続支援団体の運営、助成金の案内、スタッフの募集、新型コロナウイルス感染症への対応等

【プロジェクト②】

安全・安心に暮らせる環境づくり

◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を変更し、新任職員向けに研修会を開催しました。

(詳細は15ページ参照)

◇災害ボランティア講座の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を変更し、新任職員向けに研修会を開催しました。

○対象者：新任職員

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○期 日：令和3年3月2日

○内 容：被災地の災害ボランティアセンター運営補助として派遣された職員の実践報告(運営スタッフとしての注意事項、本会で取り組むべき事項)

○参加者：20人

◇住民の防犯への意識の啓発

朝霞警察署との見守りネットワークを生かして地域防犯支援情報を本会のツイッターに毎月2回投稿し、地域防犯情報を周知しました。また、各児童館に掲示し、子どもや保護者にも周知を行いました。

◇関係機関との連携

新型コロナウイルス感染症の影響により会議や協議会等が中止もしくは延期される状況の中、開催される会議や協議会に参加して、参加者である関係機関と情報の共有をはじめ、各事案について連携を図りました。

【関係機関が集まる会議への参加】

- ・地域ケア会議（地域包括支援センター 9回 居宅介護支援事業所 6回
- ・生活支援コーディネーター会議 9回
- ・自立支援協議会 4回
- ・要保護児童対策地域協議会 6回
- ・四市福祉施設医療職ネットワーク会議 2回

【プロジェクト③】

市民の暮らしや活動を支える体制づくり

◇生活再建のための相談支援

生活再建に関する情報を、ホームページや広報紙「社協あさか」に掲載しました。また、生活福祉資金及び本会福祉資金の貸付者に対し償還指導を行い、近況を把握しながら必要に応じて新たな相談支援を行いました。このほか、新型コロナウイルス感染症の影響による生活資金で困っている住民に対して、緊急貸付を行いました。

◇分かりやすい福祉情報の提供

市民へ最新の情報を届けるため、ホームページのほか、積極的にツイッターによる情報発信を行いました。また、新たにユーチューブ朝霞社協公式チャンネルを開設し、防災工作など、様々な取り組みを動画で紹介することができました。

◇総合相談体制の構築

広報紙「社協あさか」に総合相談窓口の内容と連絡先のほか、貸付制度や日常生活自立支援事業を掲載しました。また、関係諸機関にも本会の総合相談機能について周知を行いました。

◇地区ごとのネットワークづくり

新型コロナウイルス感染症予防に留意しながら地域懇談会を開催し、地域住民や関係者とのネットワークの維持を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域懇談会ができない地区では、地域住民アンケートの実施、社協の宣伝チラシ（るくるんニュース）の配布、SNSを使用した啓発活動を実施しました。

また、地域ケア会議、生活支援コーディネーター会議への出席や、協議体活動に参加することで、地域情報の共有が図れました。

◇ヒアリング調査の実施

地域ニーズの蓄積と分析を目的とした地域アセスメントを社協職員が各地区で作成し、定期的な更新を図りました。その他、各地区で行われている福祉活動等の事業に参加し、本会の事業を通して住民に意見や地域の課題についてヒアリングも継続して行いました。また、“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業の準備として、6地区の民生委員児童委員の定例会にて、様々な課題についてのヒアリングを実施しました。

II 事業報告

1. 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定め、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

また、ホームページやツイッター等を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行い、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

また、働き方改革関連法に基づき、職員が安心・安全に業務に従事できるよう魅力ある職場づくりに努めました。

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和2年第2回	令和 2年 6月15日	12人 (監事2人含む)	令和元年度事業報告等 14議案
令和2年第3回	令和 2年 8月25日	9人 (監事1人含む)	事業計画の一部変更等 6議案
令和2年第4回	令和 2年 9月17日	10人 (監事1人含む)	補正予算等 3議案
令和2年第5回	令和 2年12月15日	11人 (監事1人含む)	事業計画の一部変更等 3議案
令和3年第1回	令和 3年 2月 9日	11人 (監事2人含む)	事業計画の一部変更等 6議案
令和3年第2回	令和 3年 3月16日	9人 (監事1人含む)	令和3年度事業計画等 7議案

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和2年第2回	令和 2年 6月29日	17人	令和元年度事業報告等 4議案
令和2年第3回	令和 2年 9月 3日	13人	事業計画の一部変更等 3議案
令和2年第4回	令和 2年10月 2日	22人	補正予算 1議案 (同意書による決議の省略)
令和2年第5回	令和 2年12月24日	14人	事業計画の一部変更等 2議案
令和3年第1回	令和 3年 2月17日	14人	事業計画の一部変更等 2議案
令和3年第2回	令和 3年 3月25日	12人	令和3年度事業計画等 4議案

○正副会長会議

適宜開催し、理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。

・開催回数：6回

◇各種委員会等の開催

○総務・財政委員会

- ・第1回：令和2年 8月26日（出席者4人）
委員長・副委員長の互選について
広報紙「社協あさか」10月号の編集発行について
令和2年度社協会員募集について
- ・第2回：令和2年11月26日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」1月号の編集発行について
令和2年度社協会員募集の進捗状況について
社協発展・強化計画について
- ・第3回：令和3年 2月25日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」4月号の編集発行について
令和2年度社協会員募集の進捗状況について
令和3年度社協会員募集チラシについて
- ・広報紙社協あさか7月号休刊（新型コロナウイルス感染症の影響）のため開催せず

○企画委員会

- ・第1回：令和2年 8月19日（出席者4人）
事務事業評価について
住民参加型在宅福祉サービスについて
次期指定管理申請について
- ・第2回：令和2年12月 9日（出席者5人）
第4期地域福祉活動計画について
- ・第3回：令和3年 3月 1日（出席者4人）
令和3年度事業計画、資金収支予算について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：令和2年 6月 5日（出席者5人）
第27期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について
- ・第2回：令和2年 6月16日（出席者5人）
第27期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について
- ・第3回：令和2年 9月 9日（出席者5人）
第27期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇決算監査・中間監査の実施

○決算監査：令和2年 6月 2日

令和元年度業務監査及び会計監査

○中間監査：令和2年11月19日

令和2年度上半期の業務監査及び会計監査

◇社協発展・強化計画の推進

職員による推進委員会を設け、確実な計画推進体制を整備し、本会の使命である、『誰もが安心して暮らせる福祉のまち「あさか」の実現』に向けて、経営理念及び運営方針に基づき事業を展開、実施しました。

また、第2期の計画策定を行い、令和3年度から第2期の計画がスタートします。
(詳細は1ページ参照)

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

広報紙の定期発行による情報発信とツイッターやホームページ等のSNSを活用した、迅速かつ積極的な情報発信に努めました。

○広報紙「社協あさか」の発行

- ・年3回【10月・1月・4月（各1日発行）】 ※7月号は休刊
- ・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）
- ・発行部数：35,500部/回

○情報発信

	令和2年度	平成元年度
ツイッター	811件	823件
フェイスブック	714件	623件
ユーチューブ	70件	—

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、階級や年齢に応じた研修を実施、受講しました。

また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成や法令順守、社協職員としてのスキル向上を図るため、内部、外部を問わず幅広い研修に参加し、研修終了後の振り返りや達研修を行うなど、組織力の向上につながりました。

2. 地域福祉事業の推進

地域で支え合える仕組みがつかれるよう、住民の方々と一緒に取り組みを行うとともに、地域で活動している団体に対し幅広い助成を行うことで、地域の活動支援を行いました。

◇社協会員の募集

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、住民参加による地域福祉事業を推進するため広く募集を行いました。

(詳細は2ページ参照)

◇地域福祉活動の啓発・活動支援

地域包括支援センターや協議体、町内会と共に、地域住民が集える場所の新規立ち上げ支援を行いました。また、協議体の活動に訪問し、社協の事業紹介や他団体の活動状況等について情報提供を行いながら関係を築きました。

このほか、住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	令和2年度	令和元年度
交付先	自治会・町内会 64団体	自治会・町内会 61団体
助成金額	2,243,760円	2,325,960円

◇地域懇談会を通しての住民ニーズの把握

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内5地区での地域懇談会を適宜開催することができなかつたため、代替えの活動としてアンケート等を行いました。宮戸・浜崎・田島・朝志ヶ丘地区では、新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査を実施し、調査結果については、社協広報紙やホームページ等で報告を行いました。

また、コンフォール東朝霞自治会の協力を得て令和元年度に実施した地域福祉に関するアンケート調査については、コンフォール東朝霞の住民に報告書を配布しました。

このほかに、社協事業や施設利用者に向けて、利用者満足度調査を実施しました。

[3事業合計1,299名回答:児童館610名、放課後児童クラブ619名、障害者相談支援センター70名]

◇第3期地域福祉活動計画の進行・管理

地域福祉活動計画の基本理念・行動目標に基づき、進行の管理を行うとともに、各事業の充実を図りました。

(詳細は3～5ページ参照)

【第3期地域福祉活動計画推進・評価委員会】

第3期地域福祉活動計画の進捗状況や今後の取り組みについての推進評価を図るとともに、計画期間5年間の総合評価を行いました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和2年 7月31日	朝霞市総合福祉センター	8人
第2回	令和3年 3月29日	朝霞市総合福祉センター	12人

【地域福祉活動計画リーダー・サブリーダー会議】

5地区のリーダー・サブリーダーによる報告会を実施し、5年間における5地区それぞれの活動状況や情報を報告・共有しました。

期 日	場 所	参加者
令和2年11月18日	朝霞市総合福祉センター	14人

◇第4期地域福祉活動計画の策定

社協が策定する地域福祉活動計画は、市が策定する地域福祉計画と内容の一部を共有し、さらには地域福祉計画の実現を支援するための施策を盛り込むなどの連携を図ることが求められていることから、協働で策定を行いました。

【朝霞市地域福祉活動計画推進委員会】

地域福祉活動計画の策定及び推進に関し必要な事項を福祉計画と一体的に審議するため、朝霞市地域福祉計画推進委員会の理解を得て、同様の構成員による朝霞市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和2年 8月 6日	朝霞市総合福祉センター	12人
第2回	令和2年10月27日	朝霞市民会館	12人
第3回	令和2年11月 6日	朝霞市民会館	13人
第4回	令和3年 1月29日	朝霞市総合福祉センター	10人

【市民懇談会及びパブリックコメント】

朝霞市と協働で第4期朝霞市地域福祉計画及び第4期朝霞市地域福祉活動計画策定の内容について、市民から意見をいただくため市民懇談会及びパブリックコメントを開催しました。

	期 日	場 所	参加者
市民懇談会	令和2年12月12日	朝霞市コミュニティーセンター	11人
	期 日		意見数
パブリック コメント	令和2年12月10日～令和3年1月8日		17件

○内 容：第4期朝霞市地域福祉計画・第4期朝霞市地域福祉活動計画、について概要を説明・周知し、意見を伺いました。

【朝霞市地域福祉活動計画策定検討委員会】

第4期朝霞市地域福祉計画と第4期朝霞市地域福祉活動計画を一体的に策定するにあたり、調査及び検討を実施するため、社協職員による検討委員会を開催しました。

○期 日：令和2年6月17日～令和3年3月25日 全14回

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○出席者：延べ92人

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、活動支援としてボランティアニュースの特別号を配布するとともに、活動継続・再開についての助言を行いました。また、市民活動支援ステーションと情報交換を行いました。

【サロン活動サポート会】

地域で活動するふれあい・いきいきサロンに対しては、サロン活動サポート会を開催し、意見交換会や新たな生活様式を取り入れた地域福祉活動の提案、紹介を行いました。

	期 日	場 所	参加者
第1回	令和3年1月27日	コミュニティーセンター	7人
第2・3回	令和3年2月 3日	朝霞市総合福祉センター	4人
第4回	令和3年2月 9日	朝志ヶ丘高齢者地域交流室	5人
参加資料配布（郵送）			8団体

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	令和2年度	令和元年度
団体数	34団体	56団体
助成金額	1,139,000円	1,985,000円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	令和2年度	令和元年度
団体数	9団体	17団体
助成金額	250,000円	499,613円

○歳末援護金

	令和2年度	令和元年度
団体数	21団体	46団体
助成金額	310,000円	1,279,414円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「社協について」や「栄養の話」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、申請のあった講座のうち2回が中止になりました。

	令和2年度	令和元年度
実施回数	5回	32回

◇余暇支援・交流事業（障害児・者）の実施

【知的障害者スポーツレクリエーション】

新型コロナウイルス感染症の影響により、全日程を中止しました。

◇新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯への支援

【年末の生活困窮者等に対する臨時相談窓口】

○期 間：令和2年12月29日～令和2年12月31日

○相談支援：5件 ○食材支援：7件

【ひとり親家庭に対する食材支援】

○期 間：令和3年2月12日～令和3年3月31日 ○食材支援：10件

【生活困窮者等に対する食材支援】

○期 間：令和3年1月4日～令和3年3月31日 ○食材支援：24件

3. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	令和2年度	令和元年度
生活支援員	5人	5人
活動日数	延べ124日	延べ176日
相談件数	延べ573件	延べ610件
利用契約者	9人（認知症高齢者4人、知的障害者4人、その他1人）	11人（認知症高齢者3人、知的障害者5人、精神障害者2人、その他1人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置、並びにホームページにサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

(2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。

○相談件数：19件（高齢者・障害者・子育て関係、就労、生活困窮、権利擁護等）

(3) 福祉機器の貸出し

○車いす：30件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	令和2年度	令和元年度
貸出回数	30件	56件

4. 住民参加型在宅福祉サービス事業の実施

(1) ふれあいサービス事業

住民の参加と協力により、高齢者や障害者、子育てなどで日常生活上の支援を必要とする方に対し、有償の家事援助、外出援助、子育て支援等を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発令され、利用者・協力者双方の感染リスクを避けるため、令和2年4月9日～6月14日、令和3年1月8日～2月7日（98日間）活動を一時休止しました。活動再開にあたり、感染予防グッズとしてマスクや手指消毒液を協力員に支給したほか、利用者宅へ新型コロナウイルス感染症禍での活動を理解してもらうため訪問し、説明を行うなど、感染予防対策を徹底した上で、事業を継続しました。

	登録利用者	登録協力員	派遣協力員	延べ派遣日数	延べ派遣時間数
令和2年度	36人	60人	32人	470日	782時間
令和元年度	58人	74人	28人	769日	1,132.5時間

令和2年6月30日をもって、ふれあいサービス事業を終了予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年3月31日まで延長し、実施しました。

【ふれあいサービス無料提供】

○対象者：ひとり暮らしの70歳以上の高齢者、非課税世帯・生活保護受給世帯、等

○期 間：令和3年2月25日～令和3年3月22日

○実 施：10世帯

5. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、文書による償還指導を行いました。

	令和2年度	令和元年度
貸付相談	延べ108件	延べ92件
貸付件数	6件	1件
償還指導	40件	16件

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、文書による償還指導を行いました。

	令和2年度	令和元年度
貸付相談	延べ22件	延べ9件
貸付件数	10件	2件
償還指導	19件	12件

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付（県社協委託事業）

生活福祉資金について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金にお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を令和2年3月25日から実施しました。

○貸付相談：延べ 3, 890件 ※令和2年4月1日～令和3年3月31日

○貸付件数：緊急小口資金 911件

総合支援資金 363件

総合支援資金（再貸付） 35件

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業及び社協福祉資金貸付事業）等にて相談のあった世帯のうち、緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員と連携して対応しました。

	令和2年度	令和元年度
福祉資金貸付事業相談	延べ4, 020件	延べ92件
上記のうち、セーフティネット事業による支援（食材支援）	5人	0人

6. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

○ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）：

	令和2年度	令和元年度
個人	41人	84人
団体	346人（30団体）	611人（41団体）

○相談件数：

	令和2年度	令和元年度
相談件数	延べ75件	延べ78件
コーディネート件数	延べ75件	延べ78件

○団体利用室利用状況：

	令和2年度	令和元年度
登録団体	25団体	25団体
利用件数	延べ25件	延べ62件

◇ボランティア情報の収集、発信（ボランティアニュースの発行等）

○ボランティアニュース

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、ボランティア団体の活動再開に向け、新しい生活様式の実践例を踏まえた内容を盛り込んだボランティアニュースを発行しました。また、朝霞市内でも活動ができない等、多くの団体から相談いただいたこともふまえ、この時期だからこそできる活動を紹介しました。

・発行回数：年3回（6月（特別号）、8月、3月/1回2、000部）

○ボランティアセンターガイドブック

ボランティアセンターガイドブックを活用し、ボランティア相談来所者等に配布、情報の発信を行いました。

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協）

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止いたしました。（当番市：新座）

○参加者：

	令和2年度	令和元年度
四市合計	中止	延べ137人
朝霞市内		延べ39人

◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。また、1学期に福祉教育のメニューと依頼方法についてまとめた案内を各小中学校へ送付し、福祉教育の充実に努めました。また、新型コロナウイルス感染症が収束していない中で、消毒やソーシャルディスタンスという要素を取り入れた内容で実施しました。

○依頼件数：

	令和2年度	令和元年度
延べ件数	65件	51件
小学校	9校+中学校1校	10校+中学校2校

○内容：体験学習（車いす・ガイドヘルプ・手話・点字・ボッチャ）
講演「視覚障害者への理解」

○福祉教育用機器貸出件数：20件（車いす・アイマスク・点字盤等）

◇地域福祉活動の担い手の育成、ボランティア講座の開催及び活動者の支援

ボランティアとして活動したい人を対象に講座を開催し、ボランティアについての理解を深めていただき、実際に活動者として活躍してもらえるよう支援することを目的に実施しました。今年度は、サロン交流会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加人数を限定し、サロン活動サポート会を実施しました。

また、新規事業として“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業の協力員養成講座を開催しました。

（詳細は16ページ参照）

◇ボランティア体験プログラムの実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、協力施設においてもボランティアの受入れが難しいことから、夏休み期間は受付を中止しました。なお、活動希望者には個別に対応いたしました。

○対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者

○期間：令和2年8月～令和3年1月（夏休み期間は受付中止）

○場所：市内各福祉施設等

○内容：ボランティア活動希望者は個別に対応し、児童館、福祉施設でのボランティア活動に参加

○参加者：延べ 5人（令和元年度 延べ174人）

◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民を交えての訓練はリスクが高いことから、事業内容を変更し、平成29年度に実施した災害ボランティアセンター設置訓練に参加していない新任職員向け研修会を開催しました。

○対象者：新任職員

○場所：朝霞市総合福祉センター

○期 日：令和3年3月2日

○内 容：災害ボランティアセンターを社協が担う意義、本会が取り組んだ災害関係事業について

○参加者：20人

◇住民参加型在宅福祉サービス あいはあと事業の実施

ホームクリーニング事業とふれあいサービス事業を統合し、より拡充させた新事業として“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業を令和2年7月より開始予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業開始時期を令和3年4月へ延期しました。その準備として、民生委員など関係者への事業説明、また協力会員育成のために、あいはあと事業協力会員養成講座を実施しました。

【民協定例会での事業説明】

- 対象者：各地区の民生委員
- 期 日：令和3年2月8日～令和3年3月11日
- 場 所：朝霞市役所、他

【生活支援コーディネーター会議での事業説明】

- 対象者：地域包括支援センター 生活支援コーディネーター
- 期 日：令和3年 1月29日
- 場 所：総合福祉センターはあとぴあ

【居宅介護支援事業所研修会での事業説明】

- 対象者：朝霞市内居宅介護支援事業所 介護支援専門員
- 期 日：令和2年12月23日
- 場 所：市民会館

【指定特定相談支援事業所等連絡会での事業説明】

- 対象者：朝霞市内障害者相談支援事業所 相談支援専門員
- 期 日：令和3年 1月13日
- 場 所：総合福祉センターはあとぴあ

【あいはあと事業協力会員養成講座】

- 開催日：①令和3年 3月 3日
②令和3年 3月13日
③令和3年 3月17日
- 場 所：①朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・第2会議室
②③Zoomによるオンライン開催
- 参加者：50名（内訳：①22名、②17名、③9名、別日振替2名）

◇オリンピック・パラリンピック 地元ボランティア活動支援

オリンピック・パラリンピックの地元ボランティアへ、活動意欲向上に向けてボランティアの心得等について動画配信を行いました。

7. 自動販売機設置経営事業の推進

◇自動販売機設置経営事業

収益金を地域福祉の増進に役立てるため、自動販売機設置経営事業を実施しました。また、新規飲料用自動販売機の設置に向けて調査や交渉等を行いました。

- 自動証明写真機：1台（市役所庁舎）
- 収益金：203,330円

- 小型玩具自動販売機（ガチャガチャ）：2台（朝霞市総合福祉センター）
新型コロナウイルス感染症予防のため、常設設置は行わず不定期の菓子販売を実施。
菓子販売：7回
収益金：31,216円
- 飲料用自動販売機：3台（テイ・エステック（株）、JAあさか野）
収益金：51,222円
- 収益金：合計285,768円（令和元年度 303,567円）

8. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	令和2年度	令和元年度
依頼件数	455件	650件
派遣件数	423件 (個人335件・自治体21件・学校29件・団体38件)	603件 (個人399件・自治体57件・学校56件・団体91件)
派遣人数	延べ464人 (専任延べ228人・登録延べ210人・他機関派遣協力26人)	延べ734人 (専任延べ291人・登録延べ426人・他機関派遣協力17人)

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
中級	令和2年10月 ～令和3年2月	14人	森永 慶子氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル 「あじさい」
養成・後半	令和2年10月 ～令和3年1月	4人	越後 節子氏 (埼玉県聴覚障害者協会)	専任手話通訳者

◇朝霞市登録手話通訳者試験

- 新型コロナウイルス感染症の影響で中止

◇手話体験会

- 新型コロナウイルス感染症の影響で中止

◇朝霞市（手話通訳者等派遣事務所）主催講演会

- 期 日：令和3年2月20日
- 講 師：モンキー高野氏
- 講演テーマ：「LGBTとは?!」
- 参加者：53人

◇要約筆記（PC）体験会

- 期 日：令和3年3月6日
- 講 師：手話通訳問題研究会（要約筆記者班）
- 受 講 者：5人

(2) 一般介護予防事業

市内の概ね65歳以上の方を対象に、高齢者が健康的に生きがいを持ち地域の様々な活動に主体的に参加できるよう、住民運営の通いの場の創出や、人と人との交流の場の拡充を目指し事業に取り組みました。

ノルディック・ウォーク教室から自主グループが1つ増え昨年度と合わせると全部で8つの自主グループが地域で活動しています。また、当初『笑いヨガ』の予定だった事業を新型コロナウイルス感染症予防に考慮し『切り絵講座』に変更し実施しました。その結果、切り絵講座から1つ、自己免疫力を高める健康太極拳教室から1つの自主グループが立ち上がり、浜崎・溝沼両老人福祉センターを拠点として住民主体の通いの場の創出に繋がりました。

令和2年度	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (体験教室含む)	4月クール全10回中止 10月クール全10回 ※10月 地域包括支援センター モーニングパークと共催	177人
ノルディック・ウォーク フォローアップ教室	15回	116人
健康太極拳アシスタント教室	7月～8月 全 6回	55人
健康太極拳教室	9～3月 全22回	650人
切り絵体験教室	7月 全 1回	14人
切り絵講座	9月～11月 全 6回	115人
健康相談 (浜崎、溝沼老セン、老人クラブ、サロン)	21回 ※老人クラブの依頼にて随時実施	395人
他部署協働(出前講座等)	※随時実施	52人
講座(口腔・栄養・運動器)	2月 全 5回	104人

9. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

	令和2年度	令和元年度
開館日数	243日	251日
共用施設利用状況	512件	689件
利用人数	延べ4,717人	延べ8,024人

※共用施設：集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室)

○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

- ・第1回 令和 2年10月 9日 参加者： 40人（火災想定）
- ・第2回 令和 3年 3月 5日 参加者： 25人（消防設備実地訓練）
- ・第3回 令和 3年 3月12日 参加者： 40人（地震・火災想定）

○はあとびあふれあい祭り

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、中止としました。

【はあとびあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等のサービスを提供しました。

なお、令和2年度は、作業所内における新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び利用者の感染予防を図るため、一部、生産活動の減少や社会参加活動の自粛や中止などが生じましたが、感染状況を踏まえ事業内容の見直しを図るなど、感染予防対策を講じながら実施しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数（年度末）

	令和2年度		令和元年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	36人	33人	36人	38人
就労継続支援B型	44人	30人	44人	33人
合計	80人	63人	80人	71人

③通所状況

送迎サービスの他、自転車、徒歩等による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

令和2年度		令和元年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
17社 社協3部署	2,233,942円	20社 社協2部署	2,355,402円	食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、封入封緘、タオル・靴下ストックング返し作業、コンビニ景品封入れ、バスマットクリーニング及び交換作業等

○社会参加活動

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
自主製作品展示販売会（一部変更）	児童館祭り喫茶参加、地域サロン活動等

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

令和2年度		令和元年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,746,579円	ふれあい	4,610,520円
朝霞駅南口広場	885,500円	朝霞駅南口広場	877,450円
朝霞市役所庁舎内	60,390円	朝霞市役所庁舎内	55,000円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和2年度			令和元年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
118日	1,027人	468,210円	185日	3,448人	1,964,420円

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和2年度			令和元年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
127日	1,926人	1,422,051円	179日	6,886人	4,349,567円

○出張販売

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
市役所（一部変更）	地域包括支援センター・モーニングパーク

⑧カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和2年度			令和元年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
42日	856人	710,532円	231日	11,358人	1,240,775円

※あさか福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、あさか福祉作業所と按分

⑨主な年間行事

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
個別面談（一部変更）、避難訓練（地震、火災、水害を想定）、誕生日会（一部変更）、社会生活力事業（一部変更）	保護者懇談会、保護者交流会、日帰り課外体験研修、赤い羽根共同募金街頭募金、朝霞市ふれあいスポーツ大会、彩夏祭「鳴子踊り」、はあとぴあふれあい祭り

⑩保健衛生

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
利用者健康診断、精神科健診（一部変更）、歯科検診（一部変更）、内科検診、成人病予防事業（一部変更）等	なし

⑪ボランティアの受入

令和2年度		令和元年度	
受入人数	0人	受入人数	延べ113人
活動内容	なし	活動内容	□売店及び喫茶 □利用者の作業見守り 等

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月から受入れを停止した。

【はあとぴあ障害者就労支援センター】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、就職準備支援や定着支援等を制限せざるを得ない状況だったため、オンラインの利用や訪問をする際には感染対策を十分に行うなどして、支援が止まらないように努めました。

○登録者数・就職者数

		身体	知的	精神	その他	合計
令和2年度	登録者	42人	104人	191人	11人	348人
	就職者	5人	6人	16人	0人	27人
令和元年度	登録者	36人	96人	177人	9人	318人
	就職者	3人	15人	23人	0人	41人

○就職先の主な職種

職種	身体障害	知的障害	精神障害	その他
事務	3人	0人	8人	0人
清掃	0人	3人	2人	0人
軽作業	1人	3人	6人	0人
生活支援員	1人	0人	0人	0人
計	5人	6人	16人	0人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	19件 (令和元年度24件)	雇用相談	延べ773件 (令和元年度延べ1,142件)
調査研究・普及啓発	延べ11件 (令和元年度延べ22件)	関係機関との連携	延べ876件 (令和元年度延べ1,227件)

○余暇支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【はあとびあ障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体の状態、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

令和2年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。外部講師を招いて行う市民向け講演会では、「親なき後・成年後見」をテーマに行いました。コロナ禍を受けて、講演会当日の会場参加及び講演会後の動画配信を行ったことで60人（会場参加38人、動画配信22人）の参加や視聴があり、関心やニーズに対応することができました。

また、はあとびあ福祉作業所とあさか福祉作業所の計画相談を利用されている保護者を対象に、市内に新しく出来て保護者の関心が高いグループホーム等への見学会を開催しました。これにより、「遠方・不便なところ」と消極的な保護者にも施設についての情報提供等を行うことが出来ました。

<基本相談>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
令和 2年度 登録者	52人	71人	228人	22人	373人
相談件数	237件	549件	554件	255件	1,595件
令和 元年度 登録者	27人	79人	238人	16人	360人
相談件数	210件	664件	517件	206件	1,597件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
令和 2年度契約者数	127人	72人	199人
令和 元年度契約者数	115人	53人	168人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談。 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介。 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携。 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること）。 ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇権利擁護に関する支援等。		

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種教室を開催しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
開 館 日 数	243日	254日	245日	270日
年 間 利 用 者 数	23,467人	46,100人	28,774人	62,780人
1日平均利用者数	97人	181人	117人	233人
個 人 利 用 者 数	22,396人	38,196人	26,790人	56,172人
団 体 利 用 者 数	288人	2,201人	345人	2,403人

※新型コロナウイルス感染拡大防止による国の緊急事態宣言に伴い4月1日～5月31日まで休所しました。

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
実 施 日 数	月0回	月1回	月0回	月1回
相 談 件 数	0件	250件	0件	214件

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止しました。

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。

○利用状況

児童館名	開 館 日 数		年 間 利 用 者 数		1日平均利用者数	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
きたはら	251日	172日	15,804人	21,791人	63人	127人
はまさき	249日	254日	10,972人	28,911人	44人	114人
みぞぬま	251日	289日	23,314人	55,520人	93人	192人
ねぎしだい	250日	287日	13,313人	29,984人	53人	104人
ひざおり	250日	283日	12,420人	33,138人	50人	117人
ほんちょう	251日	119日	19,287人	22,712人	77人	191人
合 計	1,502日	1,404日	95,110人	192,056人	—	—

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月2日から5月26日まで全館臨時休館しました。

○主な年間事業

幼児・児童事業、工作事業、館外事業、クリスマス会、春まつり、ランドセル来館事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施しました。

※交流事業、合同事業、調理事業、夏まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

また、令和2年3月4日から令和2年5月31日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校時の放課後児童クラブ臨時1日保育を実施しました。

○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数(年度当初)		延べ児童数	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
本町	115人	115人	111人	112人	1,277人	1,334人
朝志ヶ丘	150人	150人	163人	160人	1,797人	1,782人
岡	122人	122人	132人	121人	1,364人	1,403人
膝折	130人	130人	116人	104人	1,074人	1,072人
栄町	135人	135人	130人	122人	1,484人	1,418人
浜崎	148人	148人	145人	148人	1,537人	1,714人
泉水	125人	125人	145人	149人	1,496人	1,668人
幸町	98人	98人	98人	97人	925人	1,104人
根岸台	80人	80人	69人	80人	658人	840人
溝沼	140人	140人	139人	138人	1,393人	1,523人
合計	1,243人	1,243人	1,248	1,231人	13,005人	13,858人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等
 ※調理実習は、新型コロナウイルスの感染予防対策のため中止しました。

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スノーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生産活動の減少や余暇活動の自粛等が生じましたが、感染状況を踏まえ事業内容の見直しを図るなど、感染予防対策を講じながら事業を実施しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	令和2年度		令和元年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	11人	15人	11人
就労移行支援	8人	2人	8人	2人
就労継続支援B型	37人	31人	37人	30人
合計	60人	44人	60人	43人

③通所状況

送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援事業は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

令和2年度		令和元年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
9社 本会2部署	2,431,576円	14社 本会1部署	3,137,083円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、老人施設シーツ交換、洗濯物たたみ、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

令和2年度		令和元年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
150回	3,276,926円	190回	4,301,634円	フレア店頭、浜崎農産物直売所、老人福祉センター、市ブース販売、はあとぴあ、注文販売等

○カフェ・売店「ル・クール」の運営(毎週月曜日～金曜日)

令和2年度			令和元年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
42日	856人	610,758円	231日	11,358人	1,240,775円

※はあとぴあ福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、はあとぴあ福祉作業所と按分

※緊急事態宣言期間は、対面でのコーヒー販売を休止し、お菓子等の無人販売を実施

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会(市役所)

⑤就労支援(就労移行支援事業)

一般就労に向けて実施した作業訓練や企業見学・実習を実施しました。

○企業見学：3回(一般企業、就労継続支援A型事業所)

⑥主な年間行事

個別面談、日帰り課外体験研修（代替事業）、音楽療法、消防訓練等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業等

⑧ボランティア・実習生等の受入れ

○受入人数：延べ1人（介護等体験）

○内 容：利用者との交流、作業やレクリエーションへの参加

⑨ふれあいセンターの管理運営

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、施設内の清掃や消毒、入館時の検温及び手指消毒の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めました。

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

・第1回 令和2年9月14日

参加者：63人（利用者35人・職員28人）

・第2回 令和3年2月22日

参加者：61人（利用者36人・職員25人）

※例年、施設周辺の地域住民との関係性を深めることができるよう、地域の方にも参加を呼びかけていますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用者及び職員のみで実施しました。

【ふれあい障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むため、利用者及びその家族からの相談に対応しました。相談の際は、利用者の身体状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携を図り、生活全般の支援等を行いました。

また、令和2年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとぴあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、はあとぴあ障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。外部講師を招いての研修会には近隣市の事業所にも参加を呼びかけ、各関係機関との関係構築と連携強化を図りました。

加えて、はあとぴあ障害者相談支援センターと共同で「親なきあと」にむけての市民向け講座や、両相談支援センターの契約者を対象に市内施設見学会を開催しました。これにより、市民や利用者及びその家族等に広く情報提供することができました。

	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
令和2年度契約者数	14人	56人	4人	1人	28人	103人
令和元年度契約者数	12人	52人	4人	1人	25人	94人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

10. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局（関連2ページ参照）

◇支会理事会の開催

- 令和2年6月15日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数12人(監事2人含む)
 - ・第28期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会副支会長の選任について
 - ・令和元年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
 - ・令和元年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支計算書について
- 令和2年8月25日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数9人(監事1人含む)
 - ・令和2年度共同募金運動の実施について
- 令和3年3月16日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数9人(監事1人含む)
 - ・令和3年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・令和3年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について

◇赤い羽根共同募金運動説明会

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止しました。

◇赤い羽根共同募金

- 強調月間：令和2年10月1日～令和2年10月31日
 - 目標額：7,310,000円(令和元年度目標額：7,310,000円)
 - 実績額：6,665,721円(令和元年度実績額：6,740,397円)
- ※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

◇地域歳末たすけあい募金

- 期間：令和2年11月20日～令和3年3月31日
 - 目標額：4,312,000円(令和元年度目標額：4,645,000円)
 - 実績額：4,357,414円(令和元年度実績額：4,467,402円)
- ※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員募集説明会中止

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。

◇会員会費・寄付金募集

- 期間：令和2年5月1日～令和3年3月31日
 - 目標額：8,149,400円(令和元年度目標額：8,149,400円)
 - 実績額：5,310,758円(令和元年度実績額：5,750,747円)
- (自治会・町内会：5,088,758円 個人：222,000円)
- ※ご協力いただいた会費は、全額、日本赤十字社埼玉県支部へ送金しました。
- 会員の表彰：特別社員章 6名、支部長表彰 4名